

## …医療と労働・福祉の※ネットワーク…

令和元年7月19日（金）宮古市にある「シートピアなあと」を会場に「職場で障がい者を理解する学習相談会」が開催されました。今回は「地域・支援者に向けた障がいの理解～当事者からの発言 リカバリーストーリー～」をテーマに開催をして参加者32名、4社の企業が参加をしました。

今回の研修会は、講師に増川信浩氏（増川ねてる氏）を招いて、支援者からのプレゼン～当事者からのプレゼン～参加者参加型の構成としました。

はじめに宮古山口病院地域生活支援室小成（photo1）から「対象理解～自閉スペクトラム～」について伝えました。次いで増川氏（photo2）よりご自身のリカバリーストーリーについてプレゼンをしました。休憩を挟んで、参加者との双方向のやり取りの時間があり、企業からは現在雇用している障害がある方への対応についての質問があり、当事者と支援者のそれぞれの立場からの情報を伝えました。

のちに、参加された方たちのアンケートからは、増川さんのリカバリーストーリーに感銘を受けた等、多くの感想が寄せられ、みなさんがそれぞれ有意義な時間を過ごすことが出来た2時間でした。

(photo1)



(photo2)



### ※ネットワーク

人々の結び目「knot」をつくりながら参加者の役割が刻々と自在に変化してゆく、しなやかな協働の形態（ユーリア・エンゲストローム）